

サニタリエースON・OD取扱説明書

このたびはサニタリエースON・ODをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前にかならずよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
- 注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

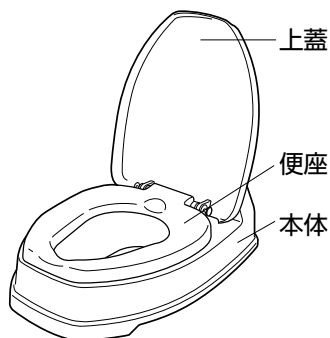
- !** 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。
- ⊘** してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告	
⊘ 製品は絶対に分解、改造しないこと 強度が落ち、破損やけがの原因になります。	! 【据置式の場合】 特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方は、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること 転倒やけがの原因になります。
! 使用前には各部を点検し、確実に設置できているか、ぐらつきがないか確認したうえで使用すること	⊘ 本体、便座がヒビ割れした場合は使用しないこと 破損し、けがの原因になります。

注意	
! 便座の縁に腰をかけると便座が浮くことがあるので注意すること	⊘ 上蓋につかまって立ち座りしないこと 上蓋が破損したり、本体が動き、転倒やけがの原因になります。
! 使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること 	
! 体重が100kgを超える方は使用しないこと 製品が破損し、けがの原因になります。	
! 落としたり、強い衝撃を与えないこと 破損し、けがの原因になります。	
⊘ 上蓋の上には座わないこと 破損し、転倒やけがの原因になります。 	
⊘ 上蓋にもたれたりよりかからないこと 破損したり転倒し、けがの原因になります。 	直射日光に当てたり、ストーブなど火気を近づけないこと プラスチックが劣化したり、火災や変形の原因になります。 
	踏み台として使用したり、子供・幼児を遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと
	【ODの場合】 上蓋・便座を開閉時に手で無理やりおさえたり、押し上げたり、乱暴に扱わないこと ダンパーが破損したり、正しく作動しなくなります。

各部のなまえ

両用式



据置式



各部のなまえ

仕様

品名	サニタリエース ^{ON} _{OD} 両用式		サニタリエース ^{ON} _{OD} 据置式	
材質	本体・上蓋・便座	ポリプロピレン	本体・じょうご・上蓋・便座	ポリプロピレン
	脚ゴム	スチレン系エラストマー	脚ゴム	スチレン系エラストマー
寸法	幅40×奥行60×高さ20cm (便座までの高さ13cm)		幅37×奥行58×高さ40cm (便座までの高さ39cm)	
重量	約2kg		約4kg	

- ODには、便座・蓋が静かに閉まるダンパー機構が付いています。
- 抗菌加工便座を使用しています。

付属品 ●O型便座カバー (ODのみ)

取りつけかた



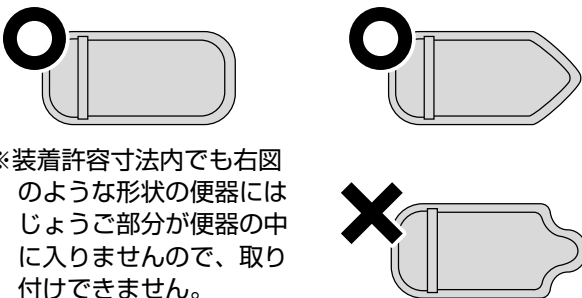
使用する際、動作は身体の安定を確認しながら、ゆっくり行うこと

両用式

- 段差のある和式トイレでお使いください。
便器の形状と装着許容寸法、洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離を確認してください。



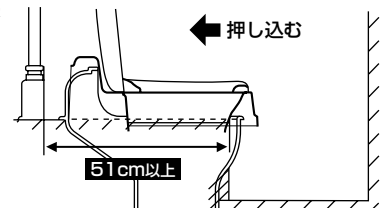
取り付け可能な便器の形状



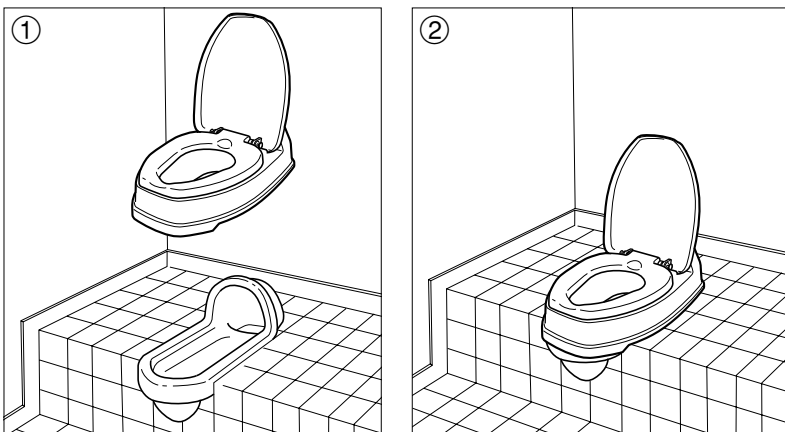
※装着許容寸法内でも右図のような形状の便器にはじょうご部分が便器の中に入りませんので、取り付けできません。

洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離

本体を奥に押し込んだ状態で寸法を確認してください。

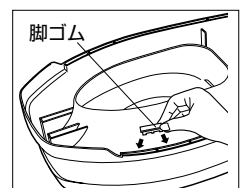


●和式便器にかぶせて置きます。



※本体は、できるだけ奥に押し込んだ状態でお使いください。

※本体を安定させるため、本体裏側についている脚ゴムを床に当たる位置に差し替えてください。(4か所)



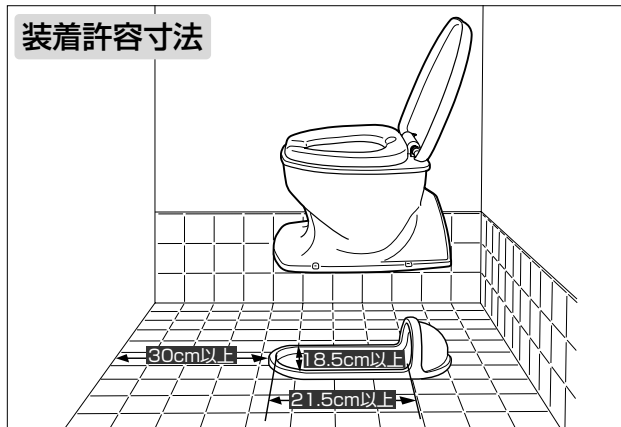
※脚ゴムが4か所ともついているか確認してください。外れたまま設置すると、使用中に傾き、転倒やけがの原因になります。

取り付けかた

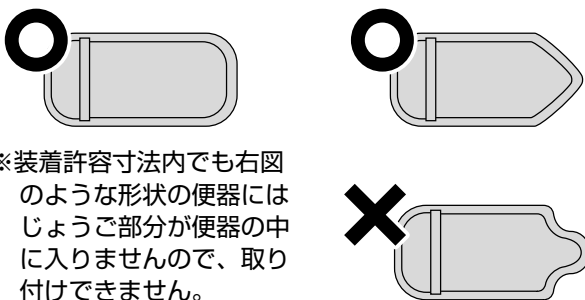
据置き式

- 段差のない和式トイレでお使いください。
便器の形状と装着許容寸法、洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離を確認してください。

装着許容寸法



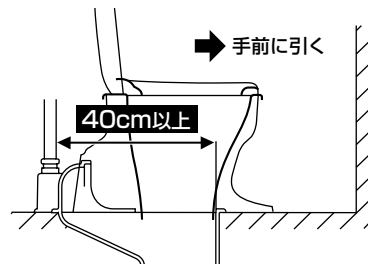
取り付け可能な便器の形状



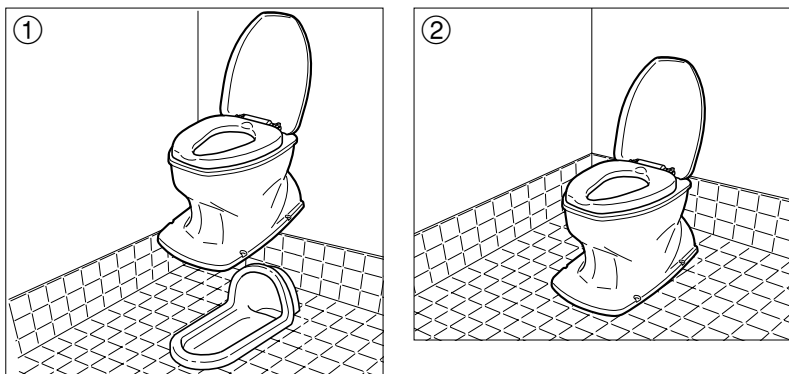
※装着許容寸法内でも右図のような形状の便器には、ちょうど部分が便器の中に入りませんので、取り付けできません。

洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離

本体を手前に引いた状態で寸法を確認してください。



●和式便器にかぶせて置きます。



※脚ゴムが4か所ともついているか確認してください。
外れたまま設置すると、使用中に傾き、転倒やけがの原因になります。

●本体が動かないように、床面にネジで固定できます。



特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方は、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること

1 固定に使うネジ4本を準備します。

床が木の場合

→ M6（首下長さ50mmまで）の木ネジを準備してください。

床がコンクリートあるいは
タイル貼りの場合

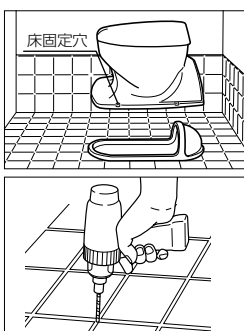
→ M6（首下長さ50mmまで）のコンクリート用ネジ（アンカーボルトやプラグなど）を準備してください。

2 本体を仮置きし、固定穴の位置を決めます。

①本体下部の開口部にある方を、和式便器のふくらみ（キンカクシ）にかぶせ、安定する位置に仮置きします。

②床固定穴の中心部に合わせて床に印をつけます。（4か所）

※床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。
必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴を開けるようにしてください。

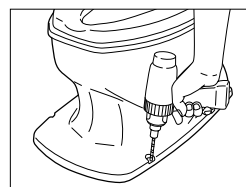


3 下穴を開け、ネジで固定します。

・下穴の深さは50mmまでにしてください。
・下穴の大きさ、およびネジの固定方法は、準備したネジに合わせて行ってください。

※下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからネジ締めしてください。

※強く締めすぎると、本体を破損することがあります。

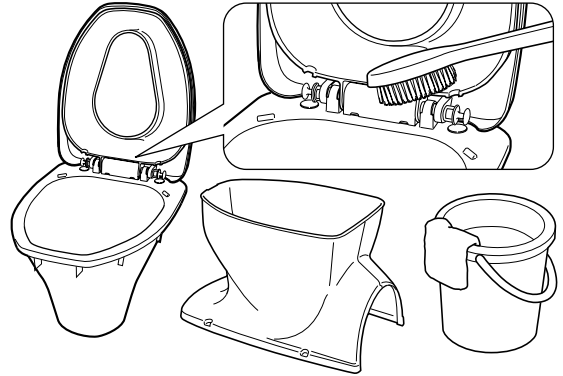


お手入れの方法

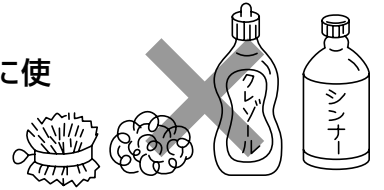
- 1 汚れはスポンジかやわらかい布に中性洗剤をふくませてからふきとってください。



- 2 じょうご部分は本体から取り外せます。上蓋・便座の軸部分は毛足のやわらかいブラシで洗ってください。



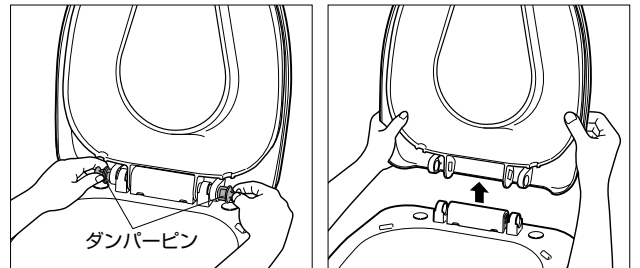
※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
 ※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
 プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



- 汚れやにおいがひどく、やむを得ず上蓋・便座を取り外して掃除する場合は、次の手順で取り外してください。

- ① 上蓋と便座をあげる。
- ② ダンパーピン（左右）を引き抜く。
- ③ 上蓋と便座を取り外す。

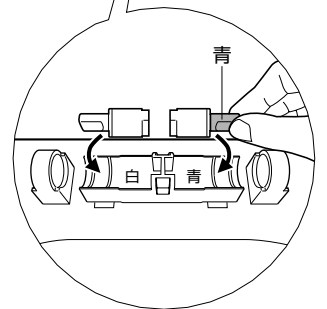
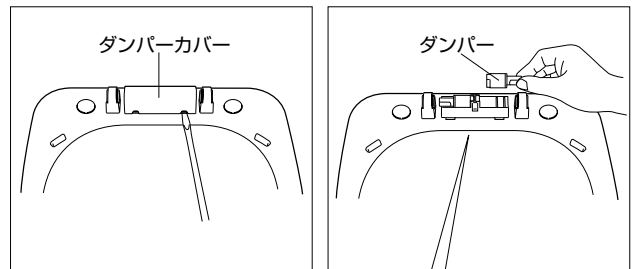
※取り付ける場合は、③から逆の手順で行ってください。



- ダンパーカバーを外すことはおすすめしませんが、ダンパーの交換などの場合は、次の手順で取り外してください。（ONの場合は、ダンパーは入っていません）

- ① ダンパーカバーの穴にドライバーなどを差し込んで、ダンパーカバーを外す。
- ② ダンパーを取り外す。

※取り付ける場合は、②から逆の手順で行ってください。その時、ダンパーの軸の色と刻印（青・白）をあわせてセットしてください。



■便座カバーについて（以下のことを参考にお選びください）

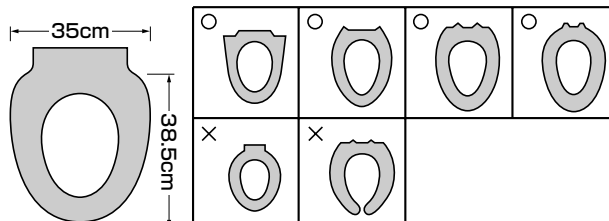
ご注意

[ODの場合]
 蓋カバーはダンパー機能に支障をきたす恐れがありますので使用しないでください。

〈便座〉

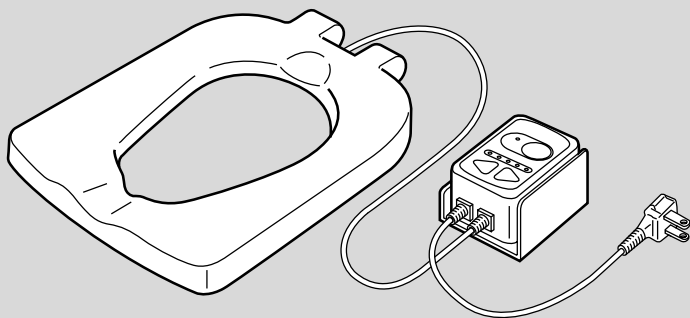
便座には下図（○印）の形状用の便座カバーが使用できます。

概要寸法

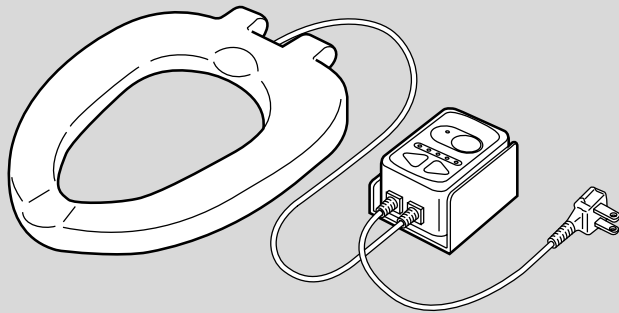


暖房便座取扱説明書

●ポータブルトイレ用

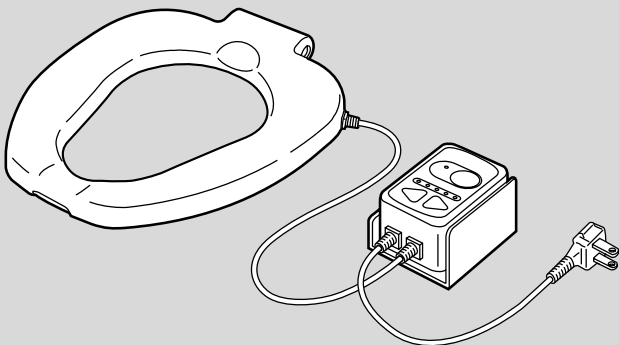


KX暖房便座



FX暖房便座

●サニタリース用





このたびは暖房便座付ポータブルトイレ・サニタリースをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に、この暖房便座取扱説明書並びにポータブルトイレ・サニタリースの取扱説明書を必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3
使いかた	4
お手入れの方法	4
故障かな?と思ったら	5



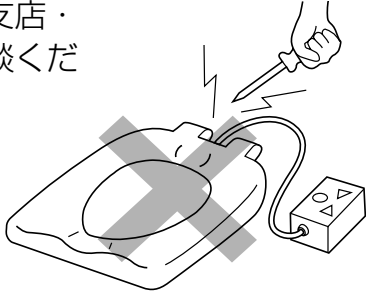


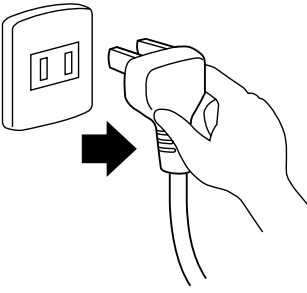


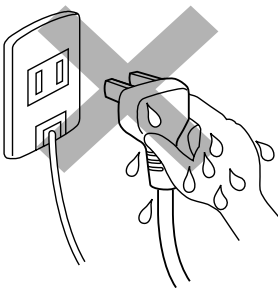

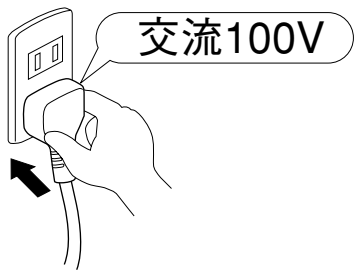
安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
 注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

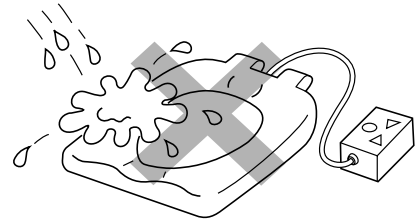
-  **必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**
-  **してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

 警告	
 <p>分解・修理・改造は絶対にしないこと 感電や発火の原因になります。分解・修理が必要なときは、お買い求めになったお店か裏面の支店・営業所にご相談ください。</p> 	 <p>電源プラグの差し込み部分のほこりは取り除くこと 火災の原因になります。</p> <p>焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと 感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または、裏面の支店・営業所にご連絡ください。</p>
 <p>電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜くこと 電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。</p> 	 <p>電源は配線工事に関する法令・規程に従った「有資格者」による配線工事の電源を使用すること 火災や感電の原因になります。</p>
 <p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の恐れがあり大変危険です。</p> 	 <p>配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと 他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。</p> 

警告

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと
火災・感電の原因になります。

便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。

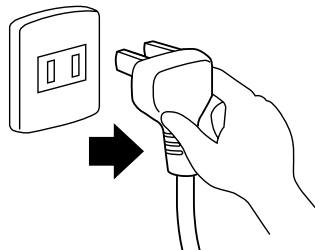


電源コードや電源プラグを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしないこと
破損して、火災・感電の原因になります。

便座・スイッチボックスは表面に結露を生じるような湿気の多い場所（浴室等）では使用しないこと
感電やショートの原因になります。

注意

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと
絶縁劣化により、火災感電の原因になります。



便座を倒すとき、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。

使用者が、自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと



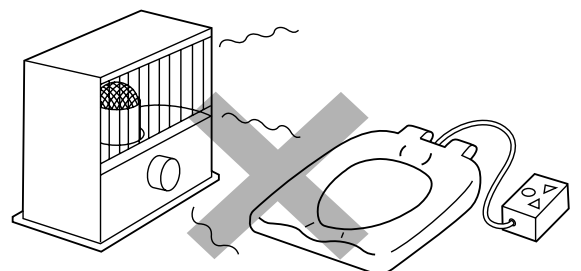
※イラストはポータブルトイレ使用時です。

便座や上蓋（座面）の上に、立たないこと
便座や上蓋（座面）が割れたり、けがや故障の原因になります。

便座カバーはつけずに使用すること

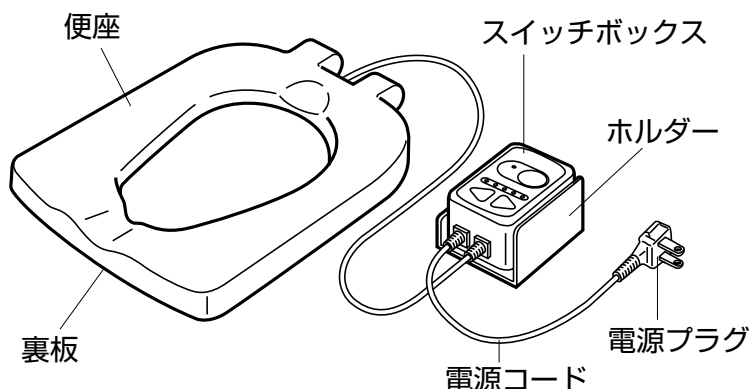
お子様・お年寄り・身体の不自由な人・皮ふ感覚の弱い人などが使用するとき、周囲が十分注意すること
低温やけどをおこすことがあります。
下半身マヒなど温度感覚のない方が暖房便座を長時間ご使用になる時は、スイッチボックスの電源スイッチを「切」にしてご使用ください。

直射日光が当たる場所や火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。



各部のなまえ

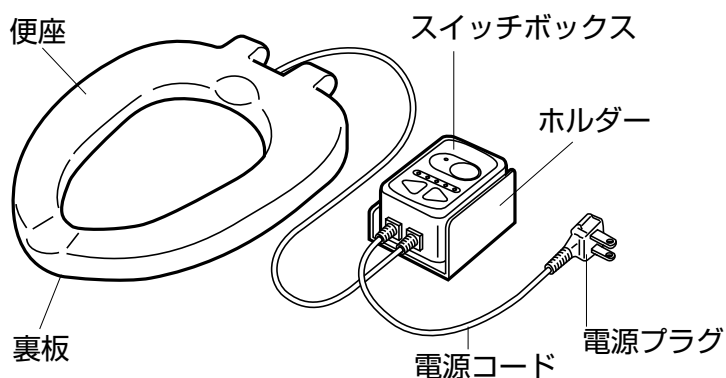
KX暖房便座



仕様

品名	KX暖房便座
材質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸法	435×360×38mm
定格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30~40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード (長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m)
安全装置	温度ヒューズ
重量	約1.2kg

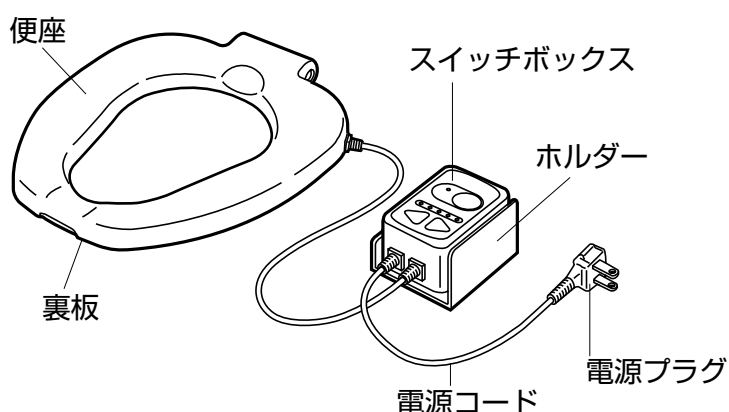
FX暖房便座



仕様

品名	FX暖房便座
材質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸法	435×360×36mm
定格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30~40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード (長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m)
安全装置	温度ヒューズ
重量	約1.0kg

サニタリース暖房便座



仕様

品名	サニタリース暖房便座
材質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸法	436×348×42mm
定格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30~40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード (長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m)
安全装置	温度ヒューズ
重量	約1.1kg

電気代について

- 標準消費電力は、室温10℃・便座温度35℃（便座温度調節ランプの中央点灯）で平均約18Wh。1日24時間通電した場合、1日当たり約10円。1ヵ月（30日）当り約360円が目安となります。（1kwh=25円39銭で計算）

便座表面温度について

室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

使いかた

組立て方法

●ポータブルトイレの場合

1 ポータブルトイレを組み立てる

①添付のポータブルトイレの取扱説明書に従ってトイレ部を組み立ててください。

2 暖房便座のスイッチボックスを固定する

- ①スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の左右どちらにでも固定できます。
- ②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーの両面テープ側が、トイレ本体の側面に合うようにします。
- ③ホルダーの離型紙をはがし、本体の側面にしっかりと固定してください。
この際、本体のポケット、ヒジかけ固定ピンなどの作動のじゃまにならないよう注意してください。
- ④スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

●サニタリエースの場合

1 サニタリエースを便器へ取りつける

①添付のサニタリエースの取扱説明書に従ってサニタリエースを便器へ取りつけてください。

2 暖房便座のスイッチボックスを固定する

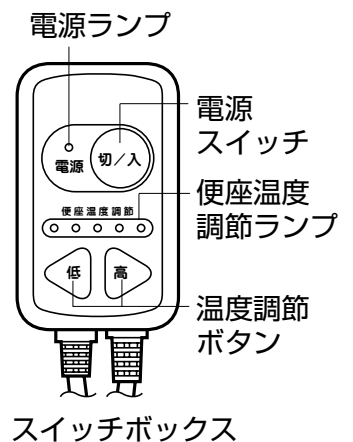
- ①電源コードが届く範囲の壁面にスイッチボックスの取り付け位置を決めます。
- ②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーをスイッチボックス取り付け位置に両面テープで固定してください。
- ③スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

使用方法

- ①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り電源ランプと便座温度調節ランプの中央ランプが点灯します。
- ②(高)(低)ボタンを押すとランプ表示が切り変わり、便座表面の温度調節ができます。
- ③好みの温度に調節してください。
※最低約30℃、最高約40℃(室温5℃のとき)の範囲で5段階に調節できます。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと



お手入れの方法

●普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。

汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤(弱アルカリ性・中性)をふくませてふきとってください。



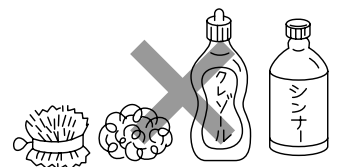
※便座・スイッチボックスには水をかけないこと

感電やショートの原因になります。

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと

プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



故障かな？と思ったら

●修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ
電源スイッチを押してもランプが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか？
便座があたたかくない	電源が「切」になっていませんか？ 設定温度が低くなっていませんか？
便座があつい	設定温度が高くなっていませんか？
電源ランプが点滅し、便座面があたたかくない	自動回路遮断が働きました。販売店に相談してください。